

平成 25 年度 第 4 回 富田林市総合計画フォローアップ会議 会議録概要

- ◆日 時：平成 26 年 1 月 22 日（水）（13：30～16：30）
- ◆場 所：富田林市役所 5階 介護認定審査会室
- ◆出席者：大西委員、前川委員、湯口委員、吉川委員（座長）  
事務局：山下、谷口、塚本、北村

発言者	発言概要
事務局	<p>■過半数の委員の出席により会議が成立していることを報告。</p> <p>■傍聴人の確認 ⇒傍聴人なし。</p> <p>～座長による議事進行～</p> <p>■前回（第3回）会議の議事録の確認。 ⇒一部、語句を修正する。</p> <p>■進捗状況の確認</p>
座長	<p>本日の議題として、基本計画第2章の進捗状況の確認と今年度フォローアップ会議報告書（以下、「報告書」）についての議論を行いたい。</p> <p>各事務事業の進捗状況の確認については、第2回及び第3回会議において、事務事業評価表を活用した進捗確認を行ったが、追加で意見等あれば、お願いしたい。</p>
委員	<p>事務事業評価における成果指標については、基本的には行政職員が仕事をしていく上での目標を、指標に設定していると思うが、受益者である市民の側から見て、その目標がどうであるのかといった視点が入れば、さらにいいものになるのではないかと思う。</p> <p>また、事務事業評価表は、担当部署における事務改善を目的に活用されているが、市民に情報発信していく考え方も必要だと思う。</p> <p>今までやってきたことを否定するというわけではなく、よくやってきたからこそ、次への期待が強まり、過去を乗り越えないと、次は生まれてこない。</p> <p>例えば、本市のように、総合計画のフォローアップをこれだけ続けてきている自治体の事例はあるか。</p>
事務局	<p>毎年、定期的にも実施されているものは少ないのではないかと思う。</p>
委員	<p>作りっぱなしのようになってしまう総合計画が多いと聞かすが、本市では、市民参加という視点を持って、総合計画がフォローアップされてきたことが評価できる。</p>

座長	<p>他に意見がなければ、各施策及び事業の進捗状況の確認については終わりたいと思うがどうか。</p> <p>(異議なしの声あり)</p> <p>計画の進捗状況の確認を行った結果を受けての提案や、報告書に盛り込むべき内容についての議論を、次の議題としたいと思う。</p> <p><b>■フォローアップ会議報告書について</b></p>
座長	<p>それでは、2番目の議題「フォローアップ会議報告書について」に移りたい。</p> <p>前回会議で、事務局作成の「報告書(たたき台)」について意見があれば、各自事前に事務局へ伝えた上で、本日意見を出し合いながら、報告書としてまとめていくこととしていたが、委員から意見の提出があったと聞いている。委員、配布してよろしいか。</p>
委員	<p>結構です。</p>
座長	<p>意見の趣旨を説明いただきたい。</p>
委員	<p>「報告書(たたき台)」の全体的な構成については、これで良いと思う。</p> <p>今年度の本会議については、フォローアップシート②(資料2)の「3つの市民参加のしくみづくり」の状況にほとんど変化がみられないことや、事務事業評価の対象となる615事業うち324事業が未評価であること、成果指標設定時の職員の考え方が見えにくいことから、全体的な評価を行う上での、物足りなさや踏み込み不足を感じた。</p> <p>総合計画は順調に進んでおり、今までの積み上げはよく出来ていると考えるが、もう一步踏み込んでいく時期に来ていると感じている。</p> <p>具体的な提案としては、フォローアップの過程で指標設定に関わる職員と直接やりとりをして、話を聞いてみたい。やりとりをする中で、結果は同じであっても、これまでと何か違う意識や発想が生まれるしくみを作っていかなければいけないと思う。</p> <p>そういったことが効果的に行われるためには、市民もただ言うだけではなく、職員もただ聞くだけではなく、お互いを変えていくために「話し合いの作法」のようなものも必要になると思う。</p> <p>成果指標設定等の検討については、フォローアップ会議としてではなく、新たに市民参加を得た分野別の部会を設け、市民と職員がお互いに意見交換する中で、両者が納得し、受け入れていく関係性を構築する作業が大切であると思われる。</p> <p>最後に、次期総合計画の策定については、市内部で検討中とのことだが、第4次総合計画の基本構想をより具体化し、発展させていくようなものとして欲しいということ強調したいと思う。</p>
座長	<p>市民目線で伝えたいことは報告書にまとめるのがベストであると思う。</p> <p>そういう意味で、今のご意見も踏まえ、報告書に盛り込む内容を考えていきたい。</p>

	<p>まず、大枠として、進捗状況の評価については、順調ではあるが、昨年からの変化が感じにくかったと思われる。</p> <p>しかしながら、進捗状況の確認をした中で、我々が気付いた問題点もあり、その対応策については提案として報告書に加えたい。</p> <p>その中で、最も気がかりなのは成果指標設定に関することであると思う。</p> <p>成果指標設定の考え方については、設定する側の視点と、評価する側の視点の2つの側面があると思われる。</p> <p>また、本会議で次期総合計画について、どこまで議論するのは、これまでも様々な意見があったと思うが、昨年度の報告書では次期総合計画策定についても提案をしている。</p> <p>今年度は、次期総合計画について、深く議論はしていないが、第4次総合計画の目標年次が平成28年度であることを踏まえると、「策定されたい」「計画策定スケジュールが逼迫している」という意見は、本会議として、昨年度と変わらないことを表明しておくべきだと思う。</p> <p>その上で、委員の意見にあった「市民と職員の対話」は、次期総合計画が策定されることを前提とした提案であると思うが、今回、全体的な進捗状況を確認することを目的に、点検する事務事業数を増やしたが、実際行ってみて、実効性がさらに高まるとは感じなかったことを踏まえると、より実効性を高めるフォローアップの方法としての「市民と職員の対話」を、今後のフォローアップの方法として提案をするのは問題ないであろうと思う。</p> <p>また、成果指標設定については、継続的な進捗管理が必要であり、1年ごとに議論して変えていくべき性質ではないことから、次期総合計画の策定時に、指標を設定する際の留意点として、提案をすることも問題ないと思われる。</p>
委員	<p>今後のフォローアップの方法については、本会議が継続的に実施されており、概ね順調に蓄積もできているものと考え。しかし、行政事務は我々市民には理解しにくい部分もあり、そういった部分について、何故ずっと変わらないのか、何故そうならざるを得ないのか等について、職員と対話し、理解を深めないことには次に繋がらないのではと感じている。</p>
座長	<p>まさしくそのとおりだと思う。</p>
委員	<p>全てを一度に変えるのは難しいと思われるので、試行として、来年度のフォローアップ会議から、市民と職員が同じテーブルで対話する会議を始めてみてはどうだろうかと思う。対話の中で相互理解を深め、必要なことを有効に進めるしくみを構築したい。</p> <p>市民が市の課題を認識することや、行政職員がどんな苦勞をしているのかについて知ることは大切であると思う。</p>
座長	<p>成果指標設定の提案についても議論したい。</p> <p>指標設定は一度設定すると、継続的な進捗管理の観点から変更しにくいものである</p>

	<p>ため、そもそも設定する際に、きちんと議論することの必要性が、本会議の成果として出てきている。そうすると、これが反映できるのは次期総合計画が策定されるタイミングということになる。</p> <p>また、先ほどの議論と関連した話になるが、その際に市民と職員が対話する必要があるという意見もある。</p> <p>基本計画第2章の取組みを評価するには、“7つの施策大綱”の推進に向けて実施される各事務事業が、適切な成果指標を設定しながら、基本計画の方向性に沿って進められていることを確認する必要があるが、本会議での確認方法としては、事務事業評価表を活用し、成果指標等を点検し、評価しているのだが、具体的な進捗評価が見えにくいと感じている。</p>
委員	<p>総合計画の進捗確認のためにフォローアップシート①②が整備され、そういった資料が蓄積されていることは評価しており、それを積み重ねていけば計画は進んでいると言えるのかもしれないが、例えば、指標設定の考え方等に、もう一步踏み込んでいきたい。</p>
事務局	<p>事務事業評価の取組みや、フォローアップシートが出来上がってきた経過があり、一定そういったしくみは進化し、確立されてきたと思われる。</p> <p>しかし、委員の意見のとおり、評価していく上で、事務事業評価の成果指標の設定の仕方等に、市民の側から見たときに、違和感を感じる部分があるのだと思う。それが、その指標を設定した行政と、受益者である市民の意識の乖離だと思われ、それを埋めようとしたときに壁を感じておられるのだと思う。</p> <p>これをもっと深く実施していくひとつの手法としては、その指標を設定した担当者と意見交換等を行うことによって、その乖離を埋められないかということかと思う。</p> <p>それを今後のフォローアップの方法として提案いただくことは、第4次総合計画の横糸の考え方が、さらに進むことに繋がると考えられる。</p>
委員	<p>ぼんやりとした距離感が、現実的な距離として見えてきているということかもしれない。</p> <p>また、「乖離」については、違う部分は違う部分として認識できたらいいのだと思う。</p>
座長	<p>成果指標設定については、留意点の提案だけで良いか。</p> <p>今までも成果指標については触れてきているが、報告書で、乖離を無くすための指標設定について踏み込むことも可能かと考えるが。</p>
委員	<p>「乖離」はあって当たり前なので、違いはあるものとして捉え、どう理解を深め合うのが大切であると思う。</p> <p>市民と職員は立場も考え方も経験も違う、使う言葉も違う。ずれていて当然だとするのが「話し合いの作法」の前提だと思う。</p> <p>ただ「乖離」という言葉は難しくないだろうか。「違い」と言い換えてはどうか。</p>

座長	<p>いや。ここは「乖離」としておくほうが良いと思う。      全てではなくとも、来年度から試行できればいいとは思う。</p> <p>～ 休 憩 ～</p>
座長	<p>後半は、こういった方向で報告書をまとめていくかについて議論したい。      市民と職員の新しい関係を築いていく必要があるということは、本会議の総意であると思う。</p> <p>具体的には、成果指標設定について、次期総合計画ではこうフォローアップしよう、評価設定もこうしよう、と投げかけるとともに、本会議において試行してみようという話にまとめる。</p> <p>そういった提案とすることで、市民と行政の乖離を埋めることにも繋がり、本会議としても、今後に向けて評価しやすい方式となり、全体としてはうまく回るようになるのではないかと投げかけたい。</p> <p>今のような方向で、「報告書（案）」を作成したい。</p> <p>次期総合計画が策定されると仮定して、事務事業評価を実施するタイミングはいつごろか。</p>
事務局	<p>次期総合計画の策定に合わせて、そこを起点として新たな目標設定を実施し、行っていくものと考えられる。</p>
委員	<p>事務事業評価は年度のいつ頃完成するのか。</p>
事務局	<p>年度が終わり、決算が確定してからの作業となるので、翌年度の夏頃である。</p>
委員	<p>どこの自治体でも抱えている悩みだと思うが、翌年度事業はすでに始まっているため、PDCAと言いながら常に1年ずれてしまうことも悩ましい。</p>
座長	<p>報告書に、今年度出た意見、例えば、財政と計画の連動といったことを、もう少し書き加えられるのではないかと考えている。議事録からの意見の拾い上げについても行いたい。</p> <p>「報告書（たたき台）」の構成では、大きな項目として「はじめに」「Ⅰ．フォローアップ会議の基本方針」「Ⅱ．総合計画の進捗状況の評価」「おわりに」となっているが、「おわりに」の前に「Ⅲ．今後のフォローアップについて」を加えたい。</p> <p>包括的に言えば、総合計画でも謳われている市民と職員の新たな関係の視点で整理ができる。一方で、今回のフォローアップで課題となっているのは、一步踏み込んで点検を行ってみると、理念と実際の評価に、市民と行政の意識の乖離が感じられ、評価のあり方を考えることが、乖離を埋めることに繋がるのであろう。具体的には、次期総合計画を策定するのであれば、成果指標の設定方法から、しっかりと考えておくことが、理念を反映させ、乖離を埋めることにも繋がる。また、本会議自体も理念を</p>

	<p>反映させるために、来年度から試行してみたい。</p> <p>様々なことが絡み合っているため整理が難しいのだが、そもそもの動機付けは、実効性を担保したいということである。</p>
委員	<p>昨年度、計画策定過程に「職員の参加」等を加えた改訂版工程表を提案したが、工程表を外してしまうと、現総合計画から次期総合計画策定までの全体の流れを確認できる箇所がなくなってしまうため、併せて提案しておきたい。</p>
座長	<p>工程表については、議論をしていないが、これまでの流れと今年の状況を踏まえると、本会議の考えるあるべき次期総合計画のためには、このくらいの期間が必要だということで、策定過程の「職員の参加」を平成26年度から2年間、「市民の参加」平成26年度後半からの1年半ぐらいに、全体的に少し短縮した工程表を提案することに異議はないか。</p> <p>(異議なしの声あり)</p> <p>では、次回の市長報告の日程について確認したい。</p>
事務局	<p>2月17日(月)午後2時から、市長室に於いて、となっている。</p>
座長	<p>本日の会議内容を踏まえた「報告書(案)」を作成し、それを委員のみなさんに確認いただいた上で、最終の意見をいただき、今年度報告書としてまとめ上げたいと考えるが、市長報告までのスケジュール案について事務局から願います。</p>
事務局	<p>1月末を目途に、「報告書(案)」を全委員にお送りし、2月7日(金)頃までに最終ご意見を事務局にいただきたいと思う。それらを反映した「報告書(最終案)」を2月17日(月)市長報告までにお渡しする流れになるかと思う。</p>
座長	<p>事務局の説明のと通りの日程で「報告書(案)」についての意見を必ず各自、事務局へフィードバックして欲しい。それを受けての「報告書(最終案)」については、大きな修正等があり再度確認したいという意見があれば、市長報告直前までに調整を行いたいと思うが、問題がないようであれば、私のほうで事務局と微調整したいと考えるが、一任いただけるか。</p> <p>(座長に一任の声あり)</p>
事務局	<p>次回については、午後2時からの市長報告の前に、今回の会議録の確認等していただくことになるので、集合時間については事務局からの開催通知で確認をお願いしたい。</p> <p>(各委員了承)</p> <p>次回の日程確認をして終了</p> <p>(第5回：平成26年2月17日(月)集合時間は開催通知参照)</p> <p>※市長報告は午後2時～</p>